

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成 27 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成 27 年 7 月 1 日（水） 午前 11 時 05 分～12 時 25 分
3	開催場所	富津市立青堀小学校 2 階会議室
4	審議等事項	(1) 学校給食費の滞納状況及び対応について (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について (3) 富津市学校給食施設整備の指針について (4) その他
5	出席者名	(委員) 平野順子、柴本一郎、平野政博、田中計、 石井吉明、森田吉一、小曾根勝己、齋藤隆広、 今井智之、金瀬陽子 (事務局) 渡辺教育長、能城教育部長、神子教育 総務課長、木村給食係長、加藤技師、川名臨時職 員、中島臨時職員
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人（定員 5 人）
9	所管課	教育部 教育総務課 給食係 電話 0 4 3 9 (8 0) 1 3 4 3
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 27 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言する。 ・委員 10 名全員出席なので、富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 2 項の規定により会議が成立すること及び本会議の内容について、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開となることを説明する。
渡辺教育長 木村係長 全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長挨拶 ・全委員に自己紹介を依頼する。 ・自己紹介
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、資料巻末の席次表により確認を依頼する。 ・富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 1 項の規定により委員長が議長となるため、会議の進行を依頼する。
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録署名人に小曾根勝己委員を指名する。 ・会議次第の 4 (1)学校給食費の滞納状況及び対応について事務局の説明を求める。また、質問は(1)(2)を連続して報告させるので、終了後一括して受けることを説明する。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の滞納状況について報告する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2 ページ、平成 26 年度現年度分を説明する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 調定額 182,161,421 円 (2) 収入額 181,677,394 円 (3) 未納額 484,027 円 (4) 収納率 99.73% 2. 3 ページ、平成 25 年度現年度分を説明する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 調定額 188,334,507 円 (2) 収入額 187,714,771 円 (3) 未納額 619,736 円 (4) 収納率 99.67% (5) 26 年度対 25 年度増減 0.06%収納率の増 3. 4 ページ、平成 26 年度過年度分を説明する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 調定額 1,527,829 円 (2) 収入額 510,563 円

	<p>(3) 不納欠損額 572,632 円</p> <p>(4) 未納額 444,634 円</p> <p>(5) 収納率 33.42%</p> <p>4. 5 ページ、平成 27 年度への過年度分滞納繰越額内訳を説明する。</p> <p>(1) 滞納額合計 928,661 円</p> <p>5. 6 ページ、未納となっている給食費の徴収内容別一覧を説明する。</p> <p>(1) 児童手当からの特別徴収 現年度分 309,017 円 過年度分 438,563 円</p> <p>(2) 臨戸徴収（過年度分）49,300 円</p> <p>(3) 学校徴収（過年度分）22,700 円</p>
平野委員長	<p>・会議次第の 4 (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について事務局の説明を求める。</p>
木村係長	<p>・7 ページ、学校給食用食材放射性物質検査事業について説明する。</p> <p>1. 千葉県教育委員会が実施する学校給食用食材放射性物質検査事業により検査を実施している。</p> <p>2. 検査場所は、木更津市の南房総教育事務所</p> <p>3. 富津市は、1 月当たり 6 検体の検査を実施している。</p> <p>4. 平成 24 年 5 月 8 日の試験検査から、平成 27 年 6 月 17 日までに延べ 218 検体の検査を実施した。</p> <p>5. 218 検体の全てで放射性セシウムは不検出であった。</p> <p>6. 今後も継続して実施する予定</p> <p>7. 検査実施毎に、市のホームページへ掲載している。</p>
平野委員長 今井委員	<p>・報告(1)及び(2)についての質問を求める。</p> <p>・未納となっている給食費について、理由を把握しているかとの質問がある。</p>
木村係長	<p>・口座振替により収納している学校が多いため、残高不足により未納となってしまうケースが約半数ある。確信的に支払わない者と家庭事情により支払うことが困難になっているケース</p>

田中委員	とを合わせると、約9割になることを回答する。
木村係長	・未納となっている給食費は、児童・生徒にも伝えているのかとの質問がある。
田中委員	・児童・生徒に直接伝えることはない。しかし、未納者には給食費袋を渡して納入してもらっているので、高学年になれば間接的に分かってしまうこともあるかと考えられる。給食費袋は学校側の配慮により、他の児童・生徒がいないところで渡していただいていることを回答する。
木村係長	・給食費の未納は、義務教育課程のことだからある程度許容されている部分があるかと思うが、一般的には無銭飲食と殆ど等しいと思う。毎年度この会議に出席して思うことは、中学生には卒業時に事実を伝え、将来、市に寄付したり、ふるさと納税をしたりという気持ちを持ってもらえたらありがたいので、教えるようにすることも必要なのではないかと質問がある。
平野政博委員	・各学校では、故郷を愛する教育にも重点を置いて指導をいただいている。子どもたちには、十二分に富津市に対する思いを持って社会に出て活躍してもらっているところも過分にあるかと思われる。大人に成長したとき、もしかしたら子どものときに給食費が未納だったことを思い出して、市に寄付したり、ふるさと納税をしてもらえるような優しく素直な心を持った子どもたちを育てよう、引き続き安全で安心な給食を安定的に提供することで一助になればと考え、努力していくことを回答する。
木村係長	・給食費が未納となっている学校が毎年同じだが、どのような原因があるのかとの質問がある。
平野政博委員	・統計的に児童・生徒数の多い学校は必然的に発生率が高くなること及び、様々な問題を抱えた家庭も多くなってしまう。最長で小学校6年間、中学校3年間在籍するため、毎年同じ学校に未納者が発生してしまうことを回答する。
平野政博委員	・毎年度徴収率が100%の学校があるが、徴収方法及び対応等を分析して、未納がある他の学校でも同じように実施する試みを行ったことがあるかとの質問がある。

木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・徴収方法は、口座振替又は現金集金により行うことを規則で定めているが、選択は各学校に任せている。口座振替よりも現金集金の方が徴収率が高い傾向にある。特に青堀小学校は平成26年度に現金集金したことにより、未納額が平成25年度の4分の1に減少したが、その分手間が増えて学校の負担も大きかったことを回答する。
平野政博委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質検査の検査対象調理場が大貫共同調理場のみとなっているが、理由について質問がある。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・検査体制の都合上、一番効率が良いこと及び、調理場が違っていても同時期に出回る野菜類の産地は同じであるため、同一調理場にて検査食材を用意していることを回答する。
齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月督促状を発送しているとのことだが、督促手数料を徴収しているかとの質問がある。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市債権管理条例第6条第2項に督促手数料を徴収する旨規定されているが、私債権に係るものは除くとされているので、給食費に関しては徴収していないことを回答する。
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の4（3）富津市学校給食施設整備の指針について事務局の説明を求める。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市学校給食施設整備の指針について説明する。 ・富津市第三次基本計画に調理場の統廃合について検討することから、学校給食運営委員会において平成24年7月から平成25年12月までに計5回の会議を開催し、慎重審議を重ねた結果、富津市学校給食調理場整備の指針（案）として纏め、教育委員会へ提言として提出した。これを受けて、教育委員会では平成26年1月定例教育委員会会議において、原案のとおり承認され策定されたことを説明する。 ・1ページ、「はじめに」は、策定に至った経緯が記載されていることを説明する。 ・2ページ、「富津市の学校給食調理場の現状と課題」について説明をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食調理場の現状として、建築年次、面積、調理食数等を説明する。

2. 学校給食調理場の課題を説明する。

(1) 単独校調理場では、児童数の減少が給食食材の仕入単価に大きく影響しており、今後も児童数の減少が予想されるため、品質を下げるか、品数や量を減らす等の「質」の低下が懸念される。

(2) 施設設備の老朽化が進行し、維持補修及び機械設備の買い替えを行って安定した給食の提供に努力しているが、十分な対応ができていない現状である。主要設備や機器の破損及び故障により、突然に給食の実施が困難となるリスクが年々高くなっている。

(3) 国の定める衛生管理基準に適合した施設への改修は様々な課題のため、遅れてしまっている。今後、食中毒等のリスクも高くなり、安全・安心な給食の実施に支障が出てくることが予想される。

(4) 稼働率が低くなってしまう調理場でも、運営に必要な最低限の経費は必要であるため、給食1食当たりの調理に係る経費が単独校調理場と共同調理場とで不均衡となっている。今後も更に格差が拡大することが予想される。

(5) 課題解消に向け、調理場の統合も視野に入れて、学校給食運営委員会で整備方針について検討を行った。

・ 4 ページ、「富津市学校給食運営委員会での検討」について説明をする。

1. 期別での施設整備を説明する。

(1) 第1期計画として、現在の5調理場を2共同調理場と1単独調理場に統合する。

(2) 第2期計画として、3調理場に統合された後の状況を精査し、より望ましい学校給食調理場のあり方を実現するための検討を行う。

① 新規共同調理場への全調理場の統合

② 既存2共同調理場への統合

2. 食育に十分配慮した給食の実施を説明する。

(1) 地産地消をはじめ、学校給食を生きた教材として活用できるような給食の提供と調理場の見学や調理実習、研修などを通じて食育に関する諸活動に取り組むことのできる施設の整備を図り、各学校と連携して食育の推進を行う。

(2) 保護者や市民を巻き込んだ食育の推進も視野に入れて今後の施設整備を検討する。

3. 食物アレルギーに配慮した給食の実施を説明する。

(1) 現実的に全ての食物アレルギーへの対応は非常に困難であるが、可能な限り食物アレルギーに配慮できるような施設整備のあり方について検討する。

4. 職員の配置についてを説明する

(1) 安全で安心な給食を安定的に提供するため、適正な職員配置を行う。

・ 6 ページ、施設整備の基本計画について説明をする。

1. 第1期計画を説明する。

(1) 富津小学校調理場を大貫共同調理場へ統合について、平成26年度において、給食搬入・搬出口改修工事を施工し、平成27年4月に統合を完了した。

(2) 飯野小学校調理場を大貫共同調理場へ統合について、平成28年4月の統合に向けて、今年度の夏季休業中に給食搬入・搬出口改修工事を施工する。

(3) 大貫共同調理場の改修

① 今年度の夏季休業中にコンテナプール及び検収室の増築工事を施工する

② 飯野小学校へ給食を配送するための配送用コンテナ及び二重食缶等の備品類を今年度中に購入する。

2. 第2期計画を説明する。

第1期計画完了後の状況を精査し、本市においてより望ましい学校給食調理場のあり方を実現するため、市民ニーズ等を把握するための様々な手法を取り入れながら、再度検討を行うものとする。

(1) 全ての調理場を統合するため、新規に共同調理場を建設

① 期間：基本計画から供用開始まで、最短でも5年が必要であると見込まれる。

② 費用：整備内容により大きく異なるが、近隣市の事例を参考に算出すると、総額11億円程度が必要であると見込まれたが、円高及び物価上昇により、更に経費が見込まれることが予想される。

③ 内容：
・最大調理数3,500食
・完全ドライシステムの採用
・危険分析重要管理点方式（HACCP）の考え方に準拠した施設
・アレルギー食への可能な限りの対応
・食育の推進に係る施設整備（見学、調理、会議等）

(2) 既存2共同調理場への統合

① 期間：施設改修に係る実施設計から調理再開までは、各々の共同調理場を交互に改修しなければ給食の提供を一時中断しなければならなくなるため、最短でも3年が必要であると見込まれる。

② 費用：国の学校給食施設衛生管理基準に準拠した施設の改修及び設備の更新が必要となり、大規模な改修となるため、高額な費用が見込まれる。

③ 内容：
・可能な限り、国の定める学校給食施設衛生管理基準に適合した施設設備への改修
・アレルギー食への可能な限りの対応
・食育の推進に係る施設整備（見学設備の設置）

3. 今後の予定について説明する。

(1) 今年度で第1期計画が完了する。

(2) 平成28年度から第2期計画の検討を開始する。

平野委員長

・報告(3)についての質問を求める。

平野政博委員	・食育に十分配慮した給食の実施が掲載されているが、地産地消の観点から、是非富津市産の食材の供給率を 100% に近づけて欲しい。また、アレルギー食対応について、前年度から変更になっていることがあるかとの質問がある。
木村係長	・可能な限り、富津市産の食材を使用するよう心掛ける。アレルギー食対応は、昨年度からの変更点はないが、富津市版のマニュアルの作成に取り掛かっている。平成 27 年度中に各団体との協議を行い策定することを回答する。
平野政博委員	・現在、重度の食物アレルギーを持つ児童・生徒が市内の小中学校に在籍しているかとの質問がある。
木村係長	・複数名在籍しており、保護者と面談を行った結果、重度の食物アレルギーを持つ児童生徒への給食対応が非常に困難であることから、完全弁当対応としていることを回答する。
齋藤委員	・今年度から富津小学校調理場を統合したことにより、大貫共同調理場で調理等に関する影響がどの程度あるかとの質問がある。
木村係長	・所轄する学校数が増えるが、学校での給食時間は昨年度と同じなので、調理開始時間を早めたり、配送車両を増台して対応していることを回答する。
金瀬委員	・アレルギー食対応を行うに当たり、医師の診断を受けること及び検査を受検することが一番のポイントであり、診断及び検査結果に基づいた対応が必要であるとの意見がある。
木村係長	・千葉県が作成した食物アレルギー対応の手引きを基準に、富津市版の食物アレルギー対応マニュアルを作成している。県の手引きでも対応には、医師の診断を受け、対応が必要の旨の記載がある学校生活管理指導表を学校に提出することが規定されていることを回答する。
柴本副委員長	・青堀小学校でもアレルギー食対応については、学級担任だけではなく、職員室と調理場が協力して毎日相互に確認を行いながら安全・安心な給食の提供を心掛けているとの報告がある。
小曾根委員	・富津市学校給食施設整備の指針の第 2 期計画について、様々な検討課題があると思われるが、早期に方向性を決定すること

木村係長	<p>が必要であるとの意見がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度から検討を開始するが、児童生徒数の減少、施設の老朽化、調理・配送の煩瑣、近隣市の状況等、慎重に状況を精査しながら本市にとってより望まし方向性を見極められるよう、給食運営委員会での審議をお願いしたいことを回答する。
平野委員長 木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の5(4)その他について事務局の説明を求める。 ・事務局からはない旨回答する。
平野委員長 平野政博委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で協議したい事項があれば発言するよう求める。 ・新潟県三条市で、牛乳を米飯給食と切り離して、別途ドリンクタイムを設けて飲むことになったという報道があった。和食の献立に牛乳は合わないというのが理由だが、富津市でも今後議論するようなことがあるかとの質問がある。
加藤技師	<ul style="list-style-type: none"> ・給食1食当りの栄養価が決まっており、献立作成の際には目標値をクリアするようにしている。牛乳は、最も良質なカルシウム源の1つであり、摂取もし易い。これを他の食材で補うのは難しいことを回答する。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の作成は全て栄養士が行っている。可能な限り栄養士の考えを尊重して、今後も給食を実施していければと考えていることを回答する。
平野政博委員	<ul style="list-style-type: none"> ・米どころの新潟なので、お米の推奨という意味合いもあって議論が始まったと思う。ある程度食文化が変わってきていると感じられる中で、皆さんで議論して行かなければならないところかなとは思うとの意見がある。
平野委員長 木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の会議予定について、事務局の説明を求める。 ・来年2月上旬頃に第2回を予定していることを説明する。 ・平成27年度第1回富津市学校給食運営委員会の閉会を宣言する。